

平成22年1月26日

## 外環の地上部街路の整備に係る課題等

## 1 地域特性

外環の2により、東町4丁目、南町5丁目、南町4丁目及び南町3丁目に形成されてきた良好な地域環境及びコミュニティが分断されることが懸念される。地域環境及びコミュニティの保全等の課題がある。

## 2 教育環境

## (1) 学区

本宿小学校及び第三小学校の学区内のうち、東町4丁目、南町5丁目、南町4丁目及び南町3丁目の東側の帯状の範囲が、外環の2の建設により学区から分断されることにより、児童の行動範囲に変化が生じることが懸念される。

## (2) 通学路

外環の2の計画線は、本宿小学校、第三小学校、第三中学校の通学路と7箇所で交差している。通過車両が増加する朝夕の時刻は、通学時間と重なることから、生徒の交通安全上の不安が懸念される。

## 3 交通

東部地域では、都市計画道路の整備が遅れていることに起因して、幹線道路の渋滞を回避する通過車両の多くが生活道路に流入している。また、青梅街道インターチェンジ等の供用により、通り抜け車両が更に増大することが懸念されている。

幹線街路は、都市における円滑な移動を確保するための交通機能を有していることから、外環の2も含めた道路ネットワークが適切に整備されることで、生活道路における交通環境が改善されることが期待される。

とはいえ、道路網は機能に応じて段階的な順序で連結されることにより、道路ネットワーク全体の交通機能が向上するものである。外環本線の車線数、ーフインターチェンジ、大深度地下利用等、その機能が従前計画から大きく変更された以上、外環の2の機能のみならず、周辺都市計画道路の機能、役割等の把握と共に相互の関係性も含めた総合的な検証が必要である。

#### 4 公共交通

外環の2が計画される東町四丁目、南町五丁目、南町四丁目及び南町三丁目地域は、路線バスの運行数が少なく、その多くが交通空白地帯（バス停から300m以上の地域）又は交通不便地域（バス停から300m以内でバスが1日100本未満の地域）となっており、それをムーバスの運行により補完している。幹線街路の整備により、路線バスの運行が期待できることから、交通空白地帯及び交通不便地域が改善することが考えられる。

#### 5 下水道

本市の雨水排水区域の約7割を占める善福寺川排水区及び神田川排水区は、1時間当たり40mm対応となっており、整備の目標としている1時間当たり50mm対応にするため、下水道第二次計画が計画されている。

外環の2の下には、都市型水害への対策として、下水道第二次計画に善福寺川雨水放流幹線が計画されている。

#### 6 緑と公園

緑は生活環境を様々な面で支えており、近年、その価値はますます高まっている。吉祥寺東町及び吉祥寺南町の緑被率は、市全体の平均が24.0%に対し、それぞれ15.6%及び16.8%と平均以下となっている。外環の2の整備により、南町苗木畑公園及び本宿東公園が失われるだけでなく、多くの緑が民有地に依存している本市の傾向を勘案すると、民有地内の失われる緑も多い。道路の空間機能を検討するに際しては、その一部を緑地空間として積極的に確保する等、緑への配慮が求められる。

- |          |       |          |       |              |
|----------|-------|----------|-------|--------------|
| — ムーバス路線 | 通学路   | ● 教育施設   | ● 公園  | ● その他の施設     |
| — バス路線   | — 三小  | ● 病院     | ⊗ 交番  | ⊗ 在宅介護支援センター |
|          | — 四小  | ● (歯科除く) | ● 消防署 | ⊗ テンミリオンハウス  |
|          | — 本宿小 | ● コミセン   | ● 郵便局 | ⊗ デイサービスセンター |
|          | — 三中  |          |       |              |

